



建築物総合環境計画概要書 新築

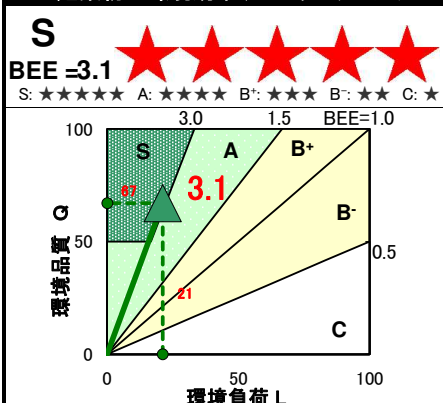
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要

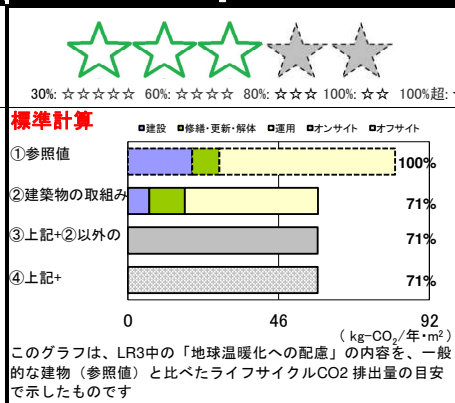
建物名称	うめきた2期地区開発事業 北街区分譲棟	
建設地	北区大深町	
建築用途	共同住宅	
建築主	株式会社(株)、大塚が久保利(株)、オリンクス不動産(株)、関電不動産開発(株)、(株)竹中工務店、(株)三井地産レジデンス(株)、うめきた開発特定目的会社	
設計者	(株)竹中工務店	
敷地面積	7,318.81	m ²
建築面積	3,540.60	m ²
延床面積	72,309.26	m ²
構造/階数	RC造	/ 地上46階
完了年(予定)	2026年3月	

1-2 外観

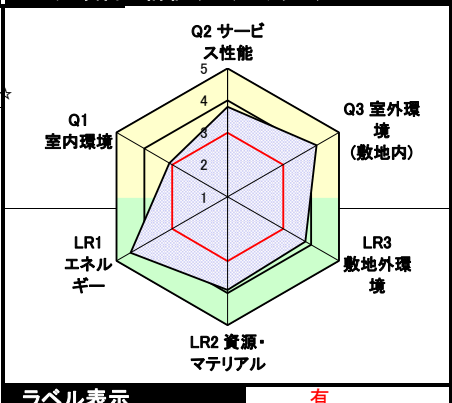
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



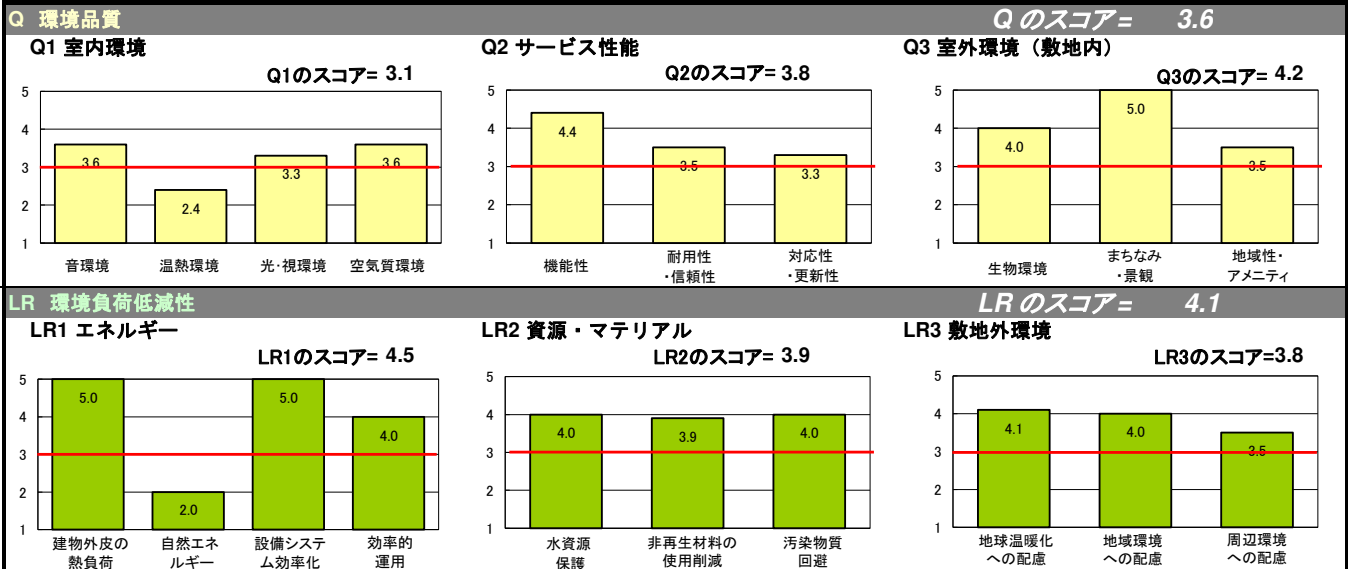
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 建物利用者の快適な生活環境の維持と環境配慮を考慮し、高い外皮性能による省エネ性を高めた建築物としている。 敷地内にはできる限りの緑地を設け、1階に外部利用可能な共創スペースを設け地域貢献に配慮している。		その他 特になし
Q1 室内環境 開口部にはT2のサッシやF☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に使用、又省エネ等級4を取得して外皮性能を高め快適な室内環境としている。	Q2 サービス性能 免震装置により建物の安全性確保を確保するとともに、住宅性能表示基準の劣化対策等級3の取得により耐用年数の長い建物にしている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に対して積極的な緑化を行うことで良好な温熱環境を心掛けている。
LR1 エネルギー 外皮の高性能化やLED照明・エネファームなどの環境に配慮した設備を導入し省エネルギー性能を向上させている。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料やノンフロン断熱材を採用し室内の良好な環境に努めている。 各種省水型機器を採用するとともに外構水景の補給水に対して雨水再利用水を利用し資源の有効利用に努めている。	LR3 敷地外環境 雨水流出抑制、排水処理設備により地域下水インフラへ配慮している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 3.1

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 4.1
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率を抑えるよう配慮した。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	4.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 4.0
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 4.0
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 4.0
配慮事項	緑地を確保することにより、地表面温度などの上昇を抑制することに配慮している。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 5.0
配慮事項	断熱材を使用し、熱負荷抑制に配慮している。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 5.0
配慮事項	LED照明・エネファームを使用するなど、エネルギー負荷を抑えるよう配慮している。

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能 住宅部分（品確法等級） 等級4を超える（相当） 非住宅部分[BPI][BPI_m]

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEI_m] 0.70 住宅部分[BEI] 0.70 非住宅部分[BEI][BEI_m] -